

・・・ 編集後記 ・・・

本学会誌を毎号手にしていただいている先生方には、平素より臨床検査学教育へご尽力をいただき深く感謝しております。

本号が発刊される頃は、第 65 回臨床検査技師国家試験も無事終了していると思われまます。

受験生だけでなくご指導された先生方もお疲れ様でした。今月末の合格発表を期待して待ちましょう。

ところで昨年は猛暑や大雨・台風・地震など、人間の力ではどうにも出来ない自然現象が続き、とくに天災が多い年だった印象があります。

夏には第 13 回日本臨床検査学教育学会学術大会が北海道で開催されました。その直後の地震。普段なら遠いところのニュースと捉えることが多いのですが、今回は足を運んでいただけに衝撃を受けました。北海道にある学会関連校では学生・教職員の方々の不幸なニュースが入っておりませんでしたので、安堵したものです。

ご承知のように 2016 年には熊本県を大きな地震が 2 度も襲いました。しかし確実に少しずつですが復興しており、2019 年度はその熊本県で第 14 回日本臨床検査学教育学会学術大会が開催されることが決まりました。

復興を願い来県されることは熊本の方の力になると思いますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしております(同じ九州の、湾を隔てた隣県長崎より)。

様々な被害に遭われた方の一日も早い復興を心よりお祈りしています。

ところで本誌の編集作業に委員として携わるようになって 4 年目を迎えています。

当初は正直軽い気持ちでお引き受けしたのですが、想像以上の作業量に驚きました。しかしこの仕事を通し、各学校の工夫や特色をより知ることができ、今となっては「やって良かった。」と感じています。人脈が広がったことも良かったことですね。これを読んでいただいている先生方へ今後何かの委員として声がかかった際には、迷わず取り組んでみることをお勧めします!

大変なこともあります、想像以上に充実しますよ。

臨床検査技師教育は変革の時期を迎えています。ただ大切なことは、1 人でも多く目的意識をきちんと持った学生を育て社会へ巣立たせるということ、そのために各校とも様々な工夫に勤しみ精一杯教育に取り組んでいることは言うまでもありません。

将来的には臨床検査技師の知名度がますます高まり、小・中学生が将来の夢として「臨床検査技師になりたい。」と言ってもらえる職種になるように、微力ながら尽力していきたいと思ひます。

(平成 30 年 11 月 1 日 編集委員 坂口 みどり)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

日本臨床検査学教育学会 学術部

編集委員会(平成 30・31 年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：齋藤邦明(藤田保健衛生大学)

委員長：野島順三(山口大学)、副委員長：眞鍋紀子(香川県立保健医療大学)

委員：長田 誠(群馬パース大学)、片岡佳子(徳島大学)、坂口みどり(九州医学技術専門学校)、柴倉美砂子(岡山大学)、嶋田かをる(熊本保健科学大学)、西川 潤(山口大学)、藤田和博(大東文化大学)、外園栄作(九州大学)、松尾収二(天理医療大学)、村上博和(群馬大学)、横尾智子(新渡戸文化短期大学)、横田浩充(東邦大学)

臨床検査学教育 第 11 巻 第 1 号

平成 31 年 3 月 1 日 発行

発行人：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会
理事長 奥村伸生

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
生体検査学専攻内

Tel. 080-4893-0572

e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp

http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0004 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11

Tel. 03-3238-7501